

NEWS RELEASE

三重大生が伊賀市「西山の棚田」へ 住民とともに「生き物マップ」づくりに挑む

三重大学みえの未来図共創機構の地域共創展開リンクは、三重県伊賀市西山地区において、西山の棚田振興協議会および三重県農林水産部と協働し、学生・地域・行政による棚田保全の地域共創プロジェクトを開始しました。本年度は、棚田がもつ生態系保全の機能に着目し、学生が住民と交流しながら「生き物マップ」を制作・情報発信することを目的としています。その第一歩として、7 月 18 日(土)に下記のとおり、住民と学生と一緒に西山地区の全体像を把握するマップづくりを行います。ぜひ当日のご取材について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時	2026 年 7 月 18 日(土) 9:30～14:00(予定)
場 所	三重県伊賀市 西山地区(午前:西山公民館前 朝市会場ほか／午後:西山公民館内)
内 容	住民と学生による西山地区の全体像マップづくり
スケジュール	9:30～10:15 朝市の見学 10:15～11:45 西山地区の散策 11:45～13:00 昼食会 13:00～14:00 共同マップづくり

【これまでのいきさつ】

伊賀市には魅力的な棚田「西山の棚田」があり、その保全には地域の方々だけでなく、さまざまな立場の人の参画が求められています。こうした中、生物資源学部 共生環境学科 農業土木学教育コースの学生を中心に、棚田の魅力とされる生態系の保全「生き物の宝庫」としての機能に焦点を当て、学生が「生き物マップ」を制作し、その成果や制作過程を発信することを、1 年間の目的として設定しました。

【7 月 18 日(土)の活動内容】

プロジェクトの本格始動として 1 回目となる 7 月 18 日(土)の調査では、住民と学生が協働して西山地区の全体像をとらえるマップづくりを行います。学生が住民とともに地区を歩いて地形や棚田の全体像をつかむとともに、住民から生き物の分布や過去の環境、危険箇所などを教わり、一枚の地図にまとめます。

【今後の予定】

7 月に作成する全体像マップをもとに、学生が主体となって具体的な生き物調査の内容を検討していきます。今後の活動は、地域で開かれている朝市との同時開催とし、地域住民との交流と生き物調査を兼ねた学生の派遣を月 1 回のペースで行うことを検討しています。継続的な関わりを通じて、生き物マップの制作と、棚田保全に向けた地域外への情報発信につなげていきます。

<本件に関するお問合せ>

三重大学 みえの未来図共創機構 地域共創展開リンク 助教 ディクソン 千尋
TEL: 059-231-2380 E-mail: chihiro@bio.mie-u.ac.jp